

第 11 回ネットワーク産業 TF 質問事項
季時別平均排出係数に関する検討に関するフォローアップヒアリング

「規制改革推進のための 3 か年計画（改定）」（平成 20 年 3 月 25 日閣議決定。以下「3 か年計画」という。）においては、「我が国の発電所が発生させる CO2 の排出量を削減するためには、・・・ そのために、「季時別平均排出係数」を採用することも含めて検討し、結論を得る。」こととされています（平成 20 年中検討・結論）。

これを踏まえ、下記の事項についてご回答の上、忌憚のない意見交換を規制改革会議ネットワーク産業 TF との間で実施したいと考えています。

1. 貴省の「低炭素電力供給システムに関する研究会」（以下、研究会という）において検討されている内容についてご説明下さい。
2. 2 月 24 日の研究会において公表された資料 4 「事業者別排出係数に係る算出・公表制度の現状と課題について」に基づき、下記事項について確認させて下さい。
 - (1) 「正確な季時別排出係数の算出は、時間帯別に、供給側における CO2 排出量と販売電力量、需要家側における使用電力量の把握が必要であり、その導入は非常に困難。」とあるが、具体的にご説明願いたい。（必要とされる追加設備投資額や準備期間等について）
 - (2) 事業者別の排出係数が昼夜によって差があることを前提としてシフトを促せるのではというのが規制改革会議としての問題意識であったが、一般電気事業者全体の平均の数字による分析によって「昼夜別に排出係数を分けたとしても、昼夜間の差は限定的」と結論付けることでは十分な回答ではないと考えるが、貴省の見解如何。
 - (3) 「太陽光発電等の大量導入が今後進んでいけば電源構成、火力や揚水発電の運用が大幅に変化していくことが考えられる。」とあるが、そういった将来の変化も見据えながら「今後どうしていくべきか」という視点で制度設計を考えていく必要があると考えるが、貴省の見解如何。

（以 上）